



主要な農作物の生育情報

平成25年度 第9号

(平成25年12月5日)

福島県農林水産部農業振興課



【野菜】

1 いちご

県内の促成栽培は概ね良好に生育しており、収穫は平年並みの11月中旬から始まりました。今後、収穫量が年末に向け増加する見込みです。病害虫の発生はうどんこ病、ハダニ類及びコナジラミ類が散見されますが、全体的に少ない状況です。

2 にら

県北及び県中地方の2年株の収穫は、平年並みの11月上旬から始まりました。現在は2番刈りのにらが順調に生育しています。また、1年株のビニル被覆は平年並みの11月中旬～12月上旬に行われ、1番刈りのにらが12月中旬から下旬かけ収穫される見込みです。病害虫の発生は、白斑葉枯病及びアブラムシ類が散見されますが、全体的に少ない状況です。

3 秋冬ねぎ

いわき地方では高温・乾燥の影響で生育が抑制されていましたが、現在は平年並みに回復して11月下旬から収穫が始まりました。病害虫の発生はさび病が散見されますが、全体的に少ない状況です。

【果樹】

1 花芽分化率

(1) りんご

花芽分化率は「つがる」が77.8%（平年比97%）で平年並み、「ふじ」は63.5%（平年比89%）で平年より低い状況でした。

(2) なし

予備枝新梢の腋花芽の花芽分化率は「幸水」が38.4%（平年比73%）で平年より低く、「豊水」は72.0%（平年比116%）で平年より高い状況でした。

2 収穫期と果実品質

(1) りんご

「ふじ」の収穫盛期は11月22日で、平年より6日遅れました。

収穫果の果実品質は、一果重は355gで平年並、糖度は16.4で平年より高く食味は良好でした。しかし、蜜入り指数は1.8で平年より低い状況でした。

マルバ台「ふじ」（48年生）におけるつる割れ発生率は、25.0%（平年15.3%）で平年より多い状況でした。

【花き】

1 ストック

会津地方の春出荷の作型において、定植は平年並みの9月下旬から10月上旬にかけて行われました。現在はハウス内においてビニルを二重に被覆して保温を行っており、草丈が15～20cmと順調に生育しています。

2 シクラメン

県内の主要産地における生育は順調で、11月中旬から関東市場を中心に出荷されています。出荷は12月中下旬頃まで行われる予定です。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224